

なかの 区議会だより

No. 208 平成20年(2008年)4月27日

編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
 電話3228-5585 FAX3228-5693
 Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
 ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



警察大学校等跡地に開院した東京警察病院

第1回 定例会

平成20年度予算を可決

一般会計当初予算は973億8800万円 前年比1・2%減

区議会は第1回定例会で、平成20年度予算を原案どおり可決したほか、「中野区職員倫理条例」などを可決しました。

第1回定例会は、2月15日から3月21日まで開かれ、31件を全会一致で、15件を賛成多数でそれぞれ可決しました。

陳情については、2件を採択し、5件を不採択としました。

2月15日に区長の施政方針説明を行い、19日から3日間、18人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。この定例会では、平成19年度補正予算、平成20年度当初予算など計46件の区長提出議案を審議しました。そのうち、

また、「社会福祉事業従事者の確保対策を求める意見書」など5件の議員提出議案を審議しました。そのうち3件を全会一致で、1件を賛成多数でそれぞれ可決し、1件を否決しました。

議案・陳情に対する討論

議案・陳情の審査にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

平成19年度中野区一般会計補正予算(第5次)

反対討論 岩永 しほ子 (共産)

中野区職員定数条例の一部を改正する条例

賛成討論 飯島 謹一 (公明)

中野区後期高齢者医療に関する条例

反対討論 山口 かおり (共産)

審議結果 可決

東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について

反対討論 有子 (無所属)

道路特定財源の暫定税率維持を求める意見書

反対討論 進 (共産)

中野区の特健診と後期高齢者健診等の自己負担の助成等について

賛成討論 来住 和行 (共産)

審議結果 不採択

予算審議の状況

平成20年度の一般会計、用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各会計当初予算案は、全議員を構成員とする予算特別委員会に付託されました。

予算特別委員会では、全体会で総括質疑を行った後、5つの分科会に分かれて審査を

行い、再び全体会で採決を行いました。

3月10日の本会議では、委員会で審査経過の報告の後、次の議員が討論を行いました。

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計

反対討論 かせ 次郎 (共産)

選挙管理委員決まる

区議会は2月15日の本会議で、3月2日に任期満了の選挙管理委員および同補充員の選挙を行い、次の方々を選出しました。任期は、平成24年3月2日までです。

選挙管理委員

小池 博(こいけ ひろし)
 若林福蔵(わかばやし ふくぞう)
 池田一雄(いけだ かずお)
 斉藤高輝(さいとう たかてる)

選挙管理委員補充員

柿沼秀光(かきぬま ひでみつ)
 大泉正勝(おおいずみ まさかつ)
 江田 徹(こうだ とおる)
 根本一範(ねもと かずのり)

主な掲載記事

- 区政をただす……………2～5面
- 予算を問う……………5～8面
- 可決した議案・意見書……………8～9面
- 予算に対する各党派の見解……………9面
- 請願・陳情の審議結果……………10面

平成20年度 各会計予算額 (対前年度伸び率)	
■一般会計	973億8800万円 (△1.2%)
■用地特別会計	13億4700万円 (著増)
■国民健康保険事業特別会計	320億6800万円 (△2.9%)
■老人保健医療特別会計	26億1000万円 (△88.7%)
■後期高齢者医療特別会計	51億6100万円 (皆増)
■介護保険特別会計	165億8400万円 (2.6%)

一般会計歳入歳出 予算の付帯意見

予算特別委員会では、一般会計歳入歳出予算を可決すべきものと決した後、次の意見を付すことを賛成多数で可決

「一般会計歳入歳出予算の付帯意見」を付すことを賛成多数で可決

委員の変更等

2月15日付で、佐伯利昭議員(民主ク)が、議会運営委員を辞任しました。
 3月17日付で、来住和行議員(共産)が、環境対策特別委員会の委員長になりました。
 3月21日付で、来住和行議員(共産)が、議会運営委員になりました。

第1回定例会 一般質問 区政をただす

基金積み立てとコスト管理で 強固な財政基盤の確立を

自由民主党議員団 山崎 芳夫



区は「10か年計画」を裏付ける「財政運営の考え方」を発表したが、財政の基幹となる都区財政調整交付金は景気



西武新宿線中野通り踏切

変動に左右されるため、強固な財政基盤の確立が必要だ。①「決算剰余金は可能な限り基金に積み立てる」とした方針を変更することはないか。②コスト管理の徹底についてどう取り組むのか。

区長 ①区民サービスの安定的供給、投資的事業への計画的な資金投入には、基金の有効活用が不可欠であり、決算剰余金は、今後も、可能

な限り基金に積み立てる。②PDC Aサイクルに基づき事業全体を見直し、今後、発生主義会計によるコスト把握、行政評価への反映、事業の見直し・改善に活用していく。

道路特定財源を確保せよ 道路特定財源は、都市部の道路整備や橋りょう整備、西武新宿線連続立体交差事業のために貴重な財源であり、暫定税率の廃止は阻止しな

らなければならない。仮に暫定税率が廃止された場合、中野区はどのような影響を受けるか。 区長 平成20年度予算案

ルを作成すべきではないか。 区長 ①保護者への説明会やアンケートを実施し、意見交換をしながら進める。②新施設開設後の動向や(仮称)すこやか福祉センターの事業実績などを見極めながら研究

したい。③児童の受け渡し手順や確認事項を明確にし、安全には十分配慮したい。

立体交差事業完成までの 「速攻対策」を急げ

公明党議員団 南 かつひこ



中井く野方駅間の西武新宿線連続立体交差化事業の新規着工準備が採択された。①国

は事業完成までの対策として、駅構内の通路を踏切の迂回路とする「通行券」の発行、待

ち時間や電車の接近状況の表示などの実証実験を行った。

区も導入を推進するべきでは。②沼袋駅前の交通対策として、一般車両の制限や歩行者専用

道路の導入を検討すべきでは。 区長 ①国の実験結果を見極め、取り入れられるもの

については、実施を働きかけ

限り基金に積み立てる。②PDC Aサイクルに基づき事業全体を見直し、今後、発生主義会計によるコスト把握、行政評価への反映、事業の見直し・改善に活用していく。

歳入では、約5億円と試算している。歳出では、道路保守整備費のほか、警察大学校跡地整備のまちづくり交付金の減額、国・都が行う連続立体交差化事業の中断など、まちづくり事業への影響がある。 道州制は十分な区民議論を

都区制度改革の検討の中で道州制に言及しているが、国民的議論まで発展していない。国民に大きな影響を与える改革であり、特別区でも区民議論が必要だが、道州制の意義についてどう考えているか。

区長 分権の新たな仕組みであるが、道州制の議論を踏まえると、都が現行どおり市の機能を内包したままとは

いかず、特別区も分権の担い手として責任を果たす議論を進めていく必要がある。

区は、「財政運営の考え方」では経常事業の中での新規・拡充に充てる財源は既存事業の見直しで確保し、一定の額に抑制するとし、必要な事業を区民の視点からでなく財政面からしか見ていない。あくまでも区民生活に寄り添った予算とすべきではないか。

区長 「考え方」の主眼は区民の視点から事業の取捨選択を行い、政策主導で財政運営を行う点にある。このた

区長が、所信表明で述べた道路特定財源に関する考えは、①今議論になっている道路の中期計画、1万4千キロメートルの道路整備、59兆円、10年間ガソリン1リットルあたり25円加算をすべてよしと考

えているのか。②これまでの財源の使い道として、不適切なものがあったと考えているのか。③地方分権の視点から、道路特定財源の一般財源化についての区長の考えは。

区長 ①道路特定財源は、区内鉄道の連続立体交差事業の基盤整備など、区民生活に深く関わっている。この廃止により、多くの事業が停止することは、経済発展などの大きな阻害要因になると考

えている。②不適切にならないよう、個々の事業の評価や効果測定について議論すべきであると考えている。③一般財源化が、どのような形で地方分権に資するのか納得のいく説明を聞いていない。

区民の理解を得られる病気休暇・休職制度を 区長は、以前、中野区の病

気休暇・休職制度を、国や他の自治体と比べて過大なものではないとしたが、国家公務員の場合、給与が100パーセント支払われる病気休暇期間は90日、80パーセントの病気休暇期間は1年間である。また、昨年問題となった奈良市を始め、多くの自治体は国

明らかにしない以上、急ぐべきではないのではないか。 区長 4月に開院する警察病院の利用者や、警大等跡地の整備に伴い増大する乗降客数への対応は喫緊の課題で、JRも含めてその具体化を図ることが急務である。

後期高齢者医療制度に 区独自の軽減策を 広域連合は、4月から始まる後期高齢者医療制度の低所得者保険料軽減策を実施するようだが、区も更に独自の軽減策を行うべきではないか。

区長 保険料賦課は、広域連合で統一した考え方を取ると同様の期間になっているが、①区長は、現在の期間で、区民の理解が得られると考えているのか。②民間の病気休暇や休職制度を調査し、改善に向けた行動をしようか。

区長 ①国の制度と同様に見直す自治体が増えており、区においても区民の納得が得られるよう検討していきたい。②現在、23区の人事・研修担当課長会で調査・検討を進めている。

利用実態を踏まえた 校庭芝生化の実施を 校庭の芝生化は、球技開放にも多大な影響を及ぼしているが、①利用実態を調べてどのような策を講じたのか。②今後工事を行う学校については、しっかりとしたグラウンドの代替措置を取ってはどうか。③今後の整備にあたり、都内の事例などを参考にし

ており、区独自で軽減策を行うことは考えていない。

中野駅周辺



中野駅周辺



療育センターアポロ園



芝生の校庭

地域ブランドで

中野の価値を高めよ

自由民主党議員団 伊藤 正信



サービスや事業の価値を高めるという意味では、10か年計画での「戦略」よりも「ブランド」という言葉の方が、区民にとってわかりやすいと考える。昨年行われた「地域ブランド調査2007」では、全国の区市町村に対するさまざまな調査項目の評価がランキングされている。①区では、「中野ブランドの発信」として、里・まち連携推進事業やにぎわい創出事業を掲げているが、これらの推進が地域の

せ、全国的に中野の魅力を発信するイメージアップ戦略に取り組んでいる。これを通じて中野のブランドをつくり、定着させたい。②幼児教育・保育や子育てサービスの充実を図るとともに、子どもたちの将来を見据えた質の高い施策を展開し、積極的に取り組みたい。



学校で遊ぶ子どもたち

民生・児童委員の支援を

民生・児童委員の活動費は、年間約10万円で、区の加算を入れても月1万円に満たない。これで、十分な活動ができるか疑問だ。複雑なケース対応の際に、自分で負担したとの話も聞く。単に増額を求める

警大跡地を囲む道路を

美しい桜並木に整備せよ

公明党議員団 小林 秀明



本年、警大跡地に東京警察病院が開院となる。今後、病院を囲むF字道路や警大跡地周辺の道路の整備が進められ、救急時には「命の道」として区民にとって重要な道路となる。①この道路を区民の憩いの場となるよう桜の並木道として整備すべきではないか。②更に「みどりの基本計画」に「桜とみどりの街路樹」の方



中野通りの桜並木

のあった桜並木も含め、検討していただきたい。③中野駅周辺で街路樹を増やす努力をしていきたい。④環境基本計画の中で環境基金と併せ、みどりのあり方についても検討したい。⑤警大等跡地の防災公園の整備内容は、区民も交えた

検討を行い、決定したい。公園サポーター制度導入をみどりのあるきれいな環境の公園をつくるには、地域の協力が必要である。地域から意欲のあるボランティアを募集し、公園サポーターとして公園のみどりを守る制度を導入してはどうか。

区議会だよりは各戸配布しています
 区議会だよりは、各戸配布により区民のみなさんのお手元にお届けしています。
 また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。
 【問合せ】区議会事務局 電話3228-5585

高層建築のもたらす

環境負荷を問う

日本共産党議員団 せざと 進



区が警大跡地に誘導した踏まえ、省エネ性能の向上ながっているような高層建築は、竣工時までに1千トン以上の二酸化炭素を排出する。ここに1千世帯が転居してくると、区内総排出量は年間5千トン、0.53%の純増になる。高層建築と地球温暖化対策は相容れず、にぎわいと環境の調和は望めないのではないか。

地球温暖化対策を進めよ

①冷却効果をもたらすドラ イミスト(濡れない霧)は、屋上緑化などが困難な建築物に有効な技術である。大いに励行すべきではないか。②屋

上緑化自体は否定しないが、より重視すべきは地上の緑化である。区内の公園整備に向けた決意は、③校庭の芝生化にあたっては、芝生の刈り方や刈った芝の堆肥化に関する方針を、環境基本計画に明記すべきでは。④区立小中学校のトイレ改修に際し、女子用個室に水が流れる音を発生させる擬音装置を設置しては。



区役所の屋上緑化見本園

「限界商店街」出現を防げ

自由民主党議員団 北原 ともあき



商店街は、単に買い物をするのみならず、コミュニティの形成の上でも重要な役割を担う。しかし、消費者ニーズの変化、インターネットによる通信販売の増加などで、苦境に陥り自助努力も限界に達している商店街も少なくない。「限界集落」にも似た「限界商店街」の様相を呈しているところも見受けられる。①商店街加入促進条例」施行後の加入状況は。②商店会や町会・自治会、区などで「商店街

消防団員を確保せよ

消防団の活動は、消火活動から地域行事の支援・協力まで多岐にわたるが、区内の消防団は定員を20%も下回る。①区は団員の確保を積極的に

進めるべきでは。②訓練場所として公園などの利用を可能にすべきでは。③区報などでお知らせしているが、消防署とも連携して団員の募集に力を入れたい。④今後の公園整備の中で場所の確保に努めたい。

文化映像をDVD化せよ 貴重な文化財は、活字でも残しながら映像対応も図るべき時代になってきている。89年に「江古田の獅子舞」や「鷲宮囃子」などが映像資料としてビデオ化されたが、劣化が進んでいる。①現在の映像文化に適するようDVD化すべきでは。②今後の文化映像



地域に伝承されるおはやし

国際交流の推進を問う

公明党議員団 江口 清三郎



施政方針説明では、ソウル特別市陽川区訪問について、

行政同士の交流だけでなく、市民交流をリードする重要な役割を果たすとの考えを示した。①区長と職員2人は公費で参加し、その他の人は私費のようであるが、行政、市民交流の考えも視野に入れた訪問であれば、今後、公費にすべきではないか。②国際交流

協会関係者は、参加したのか。不参加の場合、その理由は。③区長 ①訪問の目的は、9月に陽川区庁長が訪問された返礼と今後の交流拡大に向けた調査である。今後、交流経費は、訪問目的に応じて支

出していきたい。②現在、首長同士の表敬訪問や行政レベルの研修団の受け入れの段階であり、民間交流の支援を担う協会の参加は求めなかった。

ため、学校施設を活用し需要に込んでいる。今後、学校は再編により減少する中、教室の活用も含めた施設や種目など全体の考え方を構築する必要がある。また、その前提として、スポーツ施設全体の調査を行うべきではないか。

区では、スポーツ人口が多い一方、施設が限られている。

教育長 現在、地域スポーツクラブの検討を進めている。

中野駅地区整備計画の採算性を問う

日本共産党議員団 かせ 次郎



①議会に報告された中野駅地区整備計画は、北口広場立体構造化や、駐車・駐輪場の整備、南北自由通路の開設などの大規模計画である。この計画で重要なことは、JRの考え方であり、採算性のない計画には乗らないと思うが、合意は取り付けられるのか。

また、自由通路は自治体負担であり、駅舎整備も要請すれば、更に費用負担が発生するのではないかと。②区は、警大跡地の再開発で発生する乗降客をさばくため、駅前整備は仮工事をしなければならぬと言っている。未確定な計画に莫大な税金を投入することに、無駄遣いにならないか。

区長 ①自由通路の設置や自治体要望にかかる駅舎整備は、自治体が費用負担する場が多い。整備の費用は、今後、JRと協議を行っていく。②新たな交通需要が発生する以上、何らかの工事が必要となる。極力、費用がかからないように検討したい。

公園の安全を確保せよ
区立いちよう公園のベンチは、塗料がはげ落ち、ボルトの頭が飛び出すなど危険な状態である。また、砂場は網で覆われ使用できず、公園内に設置された防火水槽のマンホールは地面から15cmも出ている。この公園は、保育園児が使用し、子どもたちのたまり場にもなっており、いつ事故になっても不思議ではない。安全で快適な公園にするため、区内のすべての公園を点検し、必要な補修をすべきである。特にトイレや砂場の改善は計画を前倒して実施し、ベン

チの改善も一気に進めるべきと考えるがどうか。
区長 いちよう公園については、早急に対応したい。区内の公園施設の安全点検は、月2回程度職員が巡回しており、今後も安全確保に努めていく。トイレなどの整備は、これまでも老朽化したものは改築しており、今後も計画的に改築を進めていきたい。

引き続き西武新宿線連続立体交差事業の推進を

自由民主党議員団 伊東 しんじ



昨年国は、連続立体交差事業の新規着工準備路線として西武新宿線中井〜野方駅間を採択した。①野方駅以西の事業化についても、区は引き続き実施を求めると認識しているか。②工法は、地下化を求めることで変更はないか。

区長 ①今後とも、野方駅以西について都や国に対し、事業化を積極的に働きかけたい。②地下化が望ましいが、来年の都の調査結果を待ち、

今後、区内施設全体の実態把握を行い、地域住民、学校関係者などの意見を聞き、望ましい利用方法を検討していく。

食の危機管理体制を問う
中国産冷凍餃子が原因と思われる健康被害に関するホームページ掲載が遅れていた。緊急対策として危機管理担当

が統括して対応すれば迅速に行うことができたのではないかと。また、早期に住民へ注意喚起することや議会に対する報告は当然と思うがどうか。
区長 健康危機管理マニュアルにのっとって保健所が対応したが、お知らせについては不十分な面があったため、危機管理担当の対応を整理し、底していく。

道の40%を区道などへ格上げした場合の歳入増加額は、区長 区道などへ格上げし、特別区道が増えた場合の試算額は、1億6千万円余である。しかし、歳入増の一方で、区道の管理費も増加する。

道路整備財源確保を問う
区の総面積に占める区道の割合は、わずか13%であり、一方、区道面積に対する私道面積は24%と高い依存率である。道路整備財源である特別区交付金は、特別区道の延長と面積により算出される。私道への依存が減少すれば、歳入増が見込まれるのでは。私

費の想定は、②運営委員会は、(仮称)区民活動センターの地域への運営委託は、区民の理解と参加、地域自治の持続性の確保が必須である。①センターの運営委員会が業務を行うには、人材確保が最重要課題である。人員配置や経費の想定は、②運営委員会は、

人事や施設の管理など、多くの業務を負う。委員長や委員の役割や責任の範囲を明確にし、報酬も検討するべきである。区長 ①人員配置は、直接雇用や事業者への委託が想定されるが、各委員会の判断である。雇用などの諸経費は委員会への委託料に含まれる。②委員会の組織形態などのモ

デルを示し協議したい。委員への報酬は想定していない。

が統括して対応すれば迅速に行うことができたのではないかと。また、早期に住民へ注意喚起することや議会に対する報告は当然と思うがどうか。
区長 健康危機管理マニュアルにのっとって保健所が対応したが、お知らせについては不十分な面があったため、危機管理担当の対応を整理し、底していく。

の頭が飛び出すなど危険な状態である。また、砂場は網で覆われ使用できず、公園内に設置された防火水槽のマンホールは地面から15cmも出ている。この公園は、保育園児が使用し、子どもたちのたまり場にもなっており、いつ事故になっても不思議ではない。安全で快適な公園にするため、区内のすべての公園を点検し、必要な補修をすべきである。特にトイレや砂場の改善は計画を前倒して実施し、ベン

チの改善も一気に進めるべきと考えるがどうか。
区長 いちよう公園については、早急に対応したい。区内の公園施設の安全点検は、月2回程度職員が巡回しており、今後も安全確保に努めていく。トイレなどの整備は、これまでも老朽化したものは改築しており、今後も計画的に改築を進めていきたい。

人事や施設の管理など、多くの業務を負う。委員長や委員の役割や責任の範囲を明確にし、報酬も検討するべきである。区長 ①人員配置は、直接雇用や事業者への委託が想定されるが、各委員会の判断である。雇用などの諸経費は委員会への委託料に含まれる。②委員会の組織形態などのモ

デルを示し協議したい。委員への報酬は想定していない。



哲学堂公園野球場



整備中の区道

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない

求めない

受け取らない

未来教育を充実させよ

自由民主党議員団 ひぐち 和正



近年、将来の希望を持たない子どもが増えている。子どもに将来の希望を持たせるには、先端技術の情報などを伝える未来教育が必要である。

学校再編後の「おやじの会」の結成支援を
中野区立学校には、「おやじの会」の活動があり、地区委員会と同様、子どもの健全育成に大きな役割を果たしている。学校再編後も、区は、この会の結成に向けて、積極的に取り組むべきではないか。

子どもが安心して利用できるよう、改修すべきではないか。
区長 遊具側から人の動きが視認できるよう、部分改修などを検討したい。

区長 子ども達に将来の夢を持たせ、職業観を育てる教育を実施している。今後、学習支援ボランティア制度など、多様な教育資源を活用し、教育内容の充実を図りたい。

安心して利用できる
栄町公園のトイレの改修
栄町公園のトイレは、入り口が遊具の場所と反対にあり、周りには太い木があるため、子どもが利用した場合、周囲の視界から見え、危険である。

本郷保育園は、耐震診断結果から、来年度の仮園舎の建設に伴い、廃園されると聞く。南中野地域は、保育園利用の高い地域であるが今後、保育園建設をどう具体化するのか。
区長 当面、廃園による定員の不足については、近隣園の定員の弾力化などに対応し、中長期的には、保育需要などを勘案し、必要な保育定数の確保に向け、検討する。



栄町公園のトイレ

障がい者の雇用を促進し 就労を支援せよ

無所属 佐藤 ひとみ



①知的障がい者や視覚障がい者などの区役所でのチャレンジ雇用を進めてはどうか。

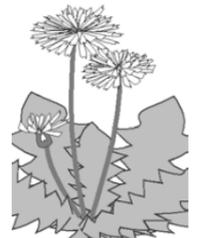
うに実現できるのか早急に検討したい。②19年度内に具体的な提案を示したい。③早期に新たな方向性を確立したい。

継続と定着のため、区としても支援策を検討すべきでは。
区長 より安定した制度となるよう検討していきたい。

②新たな雇用創出策についての考えは、③特例子会社の設立支援などについての考えは、④福祉的な就労の工賃を増やすために、各企業などへ働きかけるほか、区が積極的に仕事を発注してはどうか。

緊急保育事業への支援を
社会福祉協議会が実施している、病児の預かりや緊急の

送迎などを行う緊急保育サポート事業は、緊急の相談に対応するコーディネーターやサポーターなどに支えられており、大変好評である。事業の



教育理念を実現する

新校舎建設を

無所属 むとう 有子



①「区立小中学校校舎のあり方検討会報告」に、学校統合委員会の協議結果を形にするには専門家の知見が必要と記されている。統合新校の基本計画、設計の際には、学校建築の専門家である「あり方検討会」会長を、区に招致してはどうか。②学校建設で大

ており、各学校の検討意見も協議されている。教員による検討会を設置する考えはない。歴史的背景を踏まえた中国帰国者相談窓口設置を

昨年、中国残留邦人支援法が改正された。「保護」ではなく、「補償」の立場に立った相談窓口が必要ではないか。区長 庁舎内2階の生活援護分野に相談窓口の設置を予定している。

職員2000人体制は

区民満足度向上と両立を

無所属 近藤 さえ子



①目標と成果による管理で職員の負担が増えたと聞くが、成果は上がったか。②「公務員しかできない仕事」の精査が急務だが、事務量は減ったか。③児童館、地域センターなどの、区民に顔の見える職員がいなくなる。区民の声を聞く仕組みをつくるべきでは。

区長 ①職員は、組織目標を踏まえた目標設定、職務遂行により成果を上げている。②定型業務は民間活用を進め、公権力行使、計画策定、サービスの質確保などに職員の役割をシフトさせる。③全地域センターで対話集会を実施し、区民の意見を聞いている。

校庭芝生化は学校に配慮を

全校を芝生化する計画だが、芝は維持に手間がかかるため、大きな負担となる。学校は、子どもがのびのびと学び、運動できる場所であればならない。芝生化にあたって、十分配慮すべきではないか。教育長 実施校をできるだけ早期に決定して利用実態を把握し、芝生化の範囲、維持管理体制などを決めていく。

びみの有料化に向けた

区の方策を問う

無所属 つばい えみ



①岸和田市では、家族数に応じてシールを配付して一定量までは無料とし、子育て家庭などは更に無料枠を拡大している。排出抑制や減量化の推進に有効とされるごみの有料化について、区の方策は②ごみ出しのルールを徹底し資源の有効活用を図るため、

分別方法が直ちにわかる「ごみ虎の巻」を配布しては。区長 ①廃棄物減量等推進審議会で審議中であるが、排出抑制や減量化の推進に有効な方策と考えている。②10月から、区内全域で分別区分の変更を行う際は、冊子の作成に工夫していきたい。

シテイセールスに努めよ

区民が親しめるまちづくりや活性化のため、区のマスコットキャラクターを作成して住基カードのデザインや子どもを対象にしたイベントなどに使用してはどうか。区長 全国的に中野の魅力を発信するイメージアップ戦略に取り組んでいる。全体の方向性を検討する中で、作成について検討していきたい。

生活保護費の

不正受給を許すな

無所属 いながき じゅん子



①生活保護の不正受給によって、区民の不公平感、不信感が増大している。不正受給は絶対に許さないという強い姿勢が必要では。②不正受給件数は、18年度は21件、19年度は14件とのことだが、これ以外の隠れた不正受給はないと断言できるのか。区長 ①法による適切な指導、収入届出義務の徹底、世帯実態把握強化など、不正受給防止に全力で取り組みたい。②受給者側の認識不足や錯誤もありえ、断言は難しいが、不正は許さない姿勢を貫いており、繰り返させない決

意である。環境美化活動へ子どもたちの参加を子どもたちが、地域住民や事業者とともに環境美化活動に取り組むことは、公共心や道徳心を育てるなど有益な体験になる。各小中学校に対し、キャンペーンへの積極的な参加を呼びかけてみてはどうか。区長 小中学生の活動への取り組みは、大変意義がある。積極的に進めていきたい。

東中野小学校跡地の

整備計画を示せ

無所属 林 まさみ



区は、17年度に小中学校再編計画を策定したが、東中野小学校については、学校跡地全体の整備計画が示されていない。区が整備計画を策定しなければ、地域住民と協議の場を設けることができないが、いつまでに整備計画を策定するのか。区長 19年度内に策定し、区民にお示ししたい。

芝生化する校庭の維持管理を問う

校庭の芝生化には、1校あたり年間200万円もの維持

総括質疑 予算特別委員会

予算特別委員会では、2月26日から29日までの4日間、19人の議員が予算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容は次のとおりです。

1 山崎 芳夫 (自民) 道路特定財源について
2 区退職職員の外郭団体等への再就職について

1 岡本 いさお (公明) ICTを活用した学校教育について
2 環境施策について
3 障害者施策の充実について

1 来住 和行 (共産) 2008年度予算について
2 小中学校再編計画について
3 東中野のまちづくりについて
4 保育園の問題について
5 環境問題について
6 教育センターを拡充することについて

1 奥田 けんじ (民主) 行政経営について
2 自転車の歩道通行について
3 公共施設の無線LAN導入について
4 コンプライアンスの向上について
5 その他

1 佐野 れいじ (自民) 中野区の財政運営について
2 中野区の未収金について
3 中野区内の生活道路(狭あい道路)について
4 その他

1 牛崎 のり子 (共産) リニアパークの自転車対策について
2 障害者の就労支援について
3 小規模作業所等の障害者自立支援法移行にもなう区の支援について
4 新井薬師前駅の踏み切り内の歩道の安全性の確保について
5 みどりの基本計画について
6 その他

1 のづ 恵子 (民主) 子どもの安全安心について
2 環境について
3 共感教育について
4 その他

1 大内 しんご (自民) コミュニティバス「なかのん」の早朝運行について
2 温暖化と芝生化について
3 新井3丁目法務省用地について
4 区有施設耐震改修計画について
5 その他

1 飯島 謹一 (公明) 「財政運営の考え方」と「平成20年度予算」について
2 危機管理の諸問題について
3 都市計画マスタープランの改定について
4 学校教育の諸課題について
5 その他

1 酒井 たくや (民主) 組織と人事について
2 その他

平成20年度 予算を問う

行財政

道路特定財源

山崎委員 ①道路特定財源について国会で論議されているが、仮にこの財源が確保できなくなつた場合、既に進められている野方駅の整備や西武線の連続立体交差事業は、どうなるのか。②区長は以前、道路特定財源の使い道について、地方の交流センター、随意契約による工事コストの増大など不適切な出費があると指摘したが、中野区にそのような出費はあるか。

答 ①財源が確保できないと、事業に十分な経費が投入できない場合もあり、区民が

長年要望している事業が遅れたり中断するなど、区民生活に甚大な影響があると考えている。②特定財源に、更に一般財源を加えて道路整備、都市基盤整備をすることが急務な中、無駄な事業や不適切な経費は全くない。

特別区民税

来住議員 近年、給与所得の減少と、特別区民税の負担増により、区民の暮らしは困窮している。①区民の給与収入は、10年前と比較して、どう変化しているか。また、20〜30歳代の状況は。②特別区民税の負担状況はどうか。

答 ①平均給与収入は、10年度以降、毎年減少しており、10年度と19年度の比較では、

30万円余、5・7%の減であり、給与収入100万円台、200万円台に占める20〜30歳代の比率は、それぞれ、54・7%、66・1%である。②17年度決算と19年度決算見込みの比較では、1世帯あたり2万2千円の負担増となる。

財政運営

佐野議員 ①近年、一般会計予算は、900億円前後で推移し、大規模な新規事業の実施には起債による財源確保が必要となる。今後、財調が厳しくなるが、一般財源増へ向けた区の考えは。②人口増を図り、特別区民税の増収増に繋げれば一般財源の拡大が可能ではないか。③20年度一般会計予算で義務的経費の構

成比は55・6%、うち扶助費は21%を占め、歳出を圧迫している。偏りのない予算配分を行なうべきでは。②人口の増加により、区民全体の負担力が向上すれば、財政規模拡大に繋がると考える。③扶助費増加は、財政構造を硬直化させる。PDC Aサイクルにより評価・改善を徹底する。

指定管理者制度

いでい議員 ①指定管理者は、運営部門と管理部門が共同企業体を組むコンソーシアム方式が好ましいと考えられている。区の文化・スポーツ施設の運営には、今後この方式を維持すべきではないか。

②(仮称)区民活動センターの施設管理は、住民団体である運営委員会よりも、実績のある地元管理会社に委託すべきではないか。

答 ①単独と共同のいずれも可だが、単一事業者が全ての運営ノウハウを持つ場合は別として、大規模な施設の指定管理者は、今後も共同企業体になるものと考えている。②受託した運営委員会が自ら行うか、他に委託する場合は、運営委員会が判断すべきと考える。

長期継続契約
いでい議員 清掃業務などに障害者を採用しても、単年度契約では継続雇用できない場合があり、事業者がその採用に躊躇していると聞く。積極的な採用が進むよう、一般委託契約に長期継続契約を早期に導入すべきではないか。

答 単年度契約が原則だが、長期継続契約の利点も明らかになってきている。適正な競争を確保しながら、より良いサービスを低コストで安定的に調達できるよう努めていく。

公会計改革
篠議員 区内には、移転などが予定されている国家公務員宿舎がある。法務省矯正研究所のように利用価値の高い土地もあるが、区民の要望があっても、全ての土地を取得することはできない。区民の理解を得るためには、適切な固定資産の評価を行う必要があるが、どのように公会計改革に取り組んでいるのか。

答 国から示された「公正



きたごう秀文 (自民)

- 1 防災対策について
- 2 教育問題について
- 3 環境問題について
- 4 (仮) 南部区民活動センターについて
- 5 その他



内川 和久 (自民)

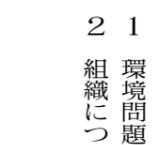
- 1 教育施策について
- 2 中野駅周辺まちづくりについて
- 3 学校教育の充実について
- 4 環境問題対策について
- 5 その他



いわた 良輔 (自民)



むとう 有子 (無所属)



林 まさみ (無所属)



篠 国昭 (自民)

- 1 教育問題について
- 2 中野区次世代育成支援行動計画について
- 3 公会計改革の取り組みについて
- 4 その他



佐藤 ひろこ (無所属)

- 1 高齢者・障がい者の住宅施策について
- 2 歩行空間等のバリアフリー化について
- 3 区財政について
- 4 その他



近藤 さえ子 (無所属)

2 桃花小学校体育館建て替えについて

3 本町5丁目用地(NIT職員宿舎跡地)購入について

4 その他

①犯罪被害者等支援について

②子ども家庭支援センターの役割について

③区民風車について

④その他

危機管理・防災

防災情報機能付自販機

きたごう議員 災害時の情報提供の手段については防災無線が中心で、視覚的な手段はないのが現状である。他区で導入されている防災情報告知機能の付いた自動販売機は、聴覚障害の方などの情報入手に有効であり、平常時もさまざまな行政情報が提供できる。人の多く集まる防災公園を中心に設置してはどうか。

答 近隣区では、練馬区で32台導入されている。設置については多くの所管にまたがるため、まだ結論には至っていないが、飲料水メーカーとの災害協定などを含め、引き続き関係所管と協議、検討していきたいと考える。

廃食用油の資源化

来住議員 他区では既に家庭廃食用油の回収を実施している。中野区でも区の回収場所を設け、家庭用廃食用油を回収し、再利用する取り組みを検討すべきと考えるがどうか。

答 廃食用油の回収は、資源の有効活用などの点から必要な取り組みと考えている。他の自治体の情報などを収集しながら、検討課題としたい。

区民風車

林議員 ①真に区民のためになる自然エネルギーの確保、二酸化炭素削減の取り組みは推進すべきであるが、今回発表された区民風車の構想は、唐突な印象を感じる。検討にあたり、他の二酸化炭素削減の手段とコスト、効果、区民参加や継続の可能性など、比較したのか。②風車1基を建設する費用はいくらか。

答 ①10か年計画に基本的方向を示している。事業計画にあたり、費用対効果など多角的に検証を行っている。②国の機関のデータから、5億円と想定している。

環境・清掃

環境教育

岡本議員 ①学校の環境教育において、感性が豊かな小学生には、理屈ではなく、太陽光発電などによって実際に発電している量が見え照明に変わるなど、直に触れて学ぶことが重要だ。すべての学校をエコスクールとして、環境教育に取り組むべきではないか。②区民風車は、効率良く環境への影響が少ない機

種を導入し、啓発のために、区役所1階に発電量などを掲示してはどうか。

答 ①太陽光発電は順次、全学校に設置する予定である。教育ビジョンの改定時に、エコスクールの発想や環境負荷の軽減について検討したい。

②区民風車の安定的な運営のため、立地調査、風況調査を適切に実施する。また、二酸化炭素の削減効果が区民に見えるように工夫していく。

③今後の区の取り組みは、

子ども・家庭

保育園の待機児童

来住議員 働きながら継続して子育てをするためには、保育園の利用は不可欠である。しかし、中野の認可保育園では、産休明けや年度途中での入園が困難であり、特に0〜2歳児については顕著と聞く。区は、この現状にどう対応するのか。

答 2月末の0〜5歳の待機者数は、355人であり、0歳は、18年度以降、増加傾向にある。待機者解消に向け、区立認可園の定数の弾力化などで対応している。

宮の台児童館

のづ議員 宮の台児童館の乳幼児親子の利用者数は、他と比べ非常に多い。しかし、ほっとルームは狭く、この春には学童クラブの児童数が増え、安全確保への苦慮が予想される。①今後は更に、校庭の芝生化工事や杉公園の自転車駐車場の設置工事などにより、ますます遊ぶ場所が過密になる。地域の全体的な調整が図られていないのではな

いか。②隣接する防災職員住宅の利用率が低い。1階だけでも学童クラブに活用するなど、有効利用は図れないか。

答 ①利用者や地域への影響を考慮し、施設を所管する部署が調整を行っている。②入居について職員の理解を得るのが困難な状況にあるが、重要な施設であり、他の用途

保健・福祉

発達障害支援

岡本議員 (仮称)すこやか福祉センターはすべての障害者の支援センターになる。この機に発達障害支援の対象年齢を拡大すべきではないか。

答 支援の対象年齢は18歳までに拡大する。ライフステージを通じた、就学や就労への移行を支援していく。

特定健診

白井議員 本年4月から、特定健診、特定保健指導が開始される。健診項目が限定され、区民に対する保健サービス、医療の提供という観点が薄れるのでは。

答 保険者が責任を持って特定健診・特定保健指導を行うことにより、被保険者などの健康づくりを推進できると考えている。特定健診の対象者には、基本的な健診項目に加え、胸部エックス線、血液学検査、心電図などの検査も予定している。

障がい者施策

白井議員 障がいのある高齢者が、障害者手帳などを持つていなくても、区長の裁量による認定を受ければ税控除が可能となる。基準は自治体によって異なるが、区は要支援1にまで対象を広げている。①認定方法はいかなるものか。②制度の周知を徹底すべきではないか。

答 ①日常生活の自立度を判定するため、介護認定調査を実施し、障害の状況を確認している。②区報、銀のしおり、障害者福祉のしおりなどで周知をしている。ホームページなどでも周知を図りたい。

都市整備

道路台帳

佐野議員 道路法第28条および第97条では道路管理者に台帳調整・保管を義務付けている。しかし、法施行後56年経過するが、区には、未整備のものが多い。早急に整備すべきではないか。

答 19年度から江原町三丁目の地籍調査を実施しており、結果を踏まえ、未整備部分について実施期間を検討するなど、事業化を早急に進めたい。

歩道安全対策

牛崎議員 平和公園通りの歩道は、ガードレールの幅が十分でなく、歩道内に約10本の電柱があるため、狭く、通りづらい。路肩側に傾斜もあり、車椅子やベビーカーの通行に不安の声が寄せられている。歩道の安全対策が必要ではないか。

答 19年度に電柱を路肩側に移設したが、20年度には道路舗装工事を行い、その中で勾配調整とガードレール移設を行う予定である。

「なかのん」の早朝運行

大内議員 武蔵丘高校や四谷商業高校の生徒の通学に、「なかのん」を利用したいとの要望が多いが、現在、通学時間帯に利用できる中野駅発の運行がない。中野駅発の早朝時間帯の運行について、議会や区長から強い要望があることを、バス事業者に働きかけるべきではないか。

答 バス事業者も収支については強い危機感を持っており、需要の高い時間帯の増便など、4月からのダイヤ改正に向け検討中と聞く。議会からの要望を踏まえ、バス事業者には働きかけていく。

都市整備

道路台帳

佐野議員 道路法第28条および第97条では道路管理者に台帳調整・保管を義務付けている。しかし、法施行後56年経過するが、区には、未整備のものが多い。早急に整備すべきではないか。

答 19年度から江原町三丁目の地籍調査を実施しており、結果を踏まえ、未整備部分について実施期間を検討するなど、事業化を早急に進めたい。

歩道安全対策

牛崎議員 平和公園通りの歩道は、ガードレールの幅が十分でなく、歩道内に約10本の電柱があるため、狭く、通りづらい。路肩側に傾斜もあり、車椅子やベビーカーの通行に不安の声が寄せられている。歩道の安全対策が必要ではないか。

答 19年度に電柱を路肩側に移設したが、20年度には道路舗装工事を行い、その中で勾配調整とガードレール移設を行う予定である。

「なかのん」の早朝運行

大内議員 武蔵丘高校や四谷商業高校の生徒の通学に、「なかのん」を利用したいとの要望が多いが、現在、通学時間帯に利用できる中野駅発の運行がない。中野駅発の早朝時間帯の運行について、議会や区長から強い要望があることを、バス事業者に働きかけるべきではないか。

答 バス事業者も収支については強い危機感を持っており、需要の高い時間帯の増便など、4月からのダイヤ改正に向け検討中と聞く。議会からの要望を踏まえ、バス事業者には働きかけていく。

中野駅南口地区整備

内川議員

中野駅南口地区は、丸井のデパート業務撤退により、かなりのダメージを受けている。北口の一人勝ちの状況は、中野駅周辺の経済波及効果として必ずしも好影響ではない。区は、中野駅南口地区の活性化のために、どのように警察大学校等跡地開発と連携させ、どのようなまちへ誘導していくのか。

答 中野駅地区と連係する整備により、アクセス機能の強化を図り、商店の活性化や産業振興施策を推進していく。

高齢者・障がい者の住宅施策

佐藤議員 ①区の福祉住宅には常時介護を必要とする人は入居できない。福祉住宅条例は介護保険導入前の条例であり、今は介護サービスを受けながら地域で暮らしている人も多い。時代に合わせて条例を見直すべきだ。また、高齢者住宅に障がい者も入れるように制度設計すべきではないか。②区有地の一部をグループホームに貸し出せないか。

答 ①介護サービスを受けることで在宅が可能な場合については、入所基準の見直しが必要と考える。②広さや場所の条件が整えば検討したい。

サッカー場整備

大内議員 統合新校の用地として活用を計画している新井三丁目法務省矯正研修所などの用地は、約1・6ヘクタールと、区内他校に比べかなり広く、学校用地に限定した利用には疑問がある。区内には、子どもたちに人気の高いサッカーを行う場所が、新宿区との共同利用の妙正寺川

公園運動広場だけで不十分である。この際、新校の用地と合わせて、この用地にサッカー場を整備すべきではないか。

教育

学校におけるICT活用

岡本議員 20年度、全小中学校に校内LANが構築され、電子情報ボードが整備される。

①ICT機器の整備だけでは活用は図れない。教育委員会と関係者によるICT活用の基本方針や計画が必要ではないか。②パソコンの再リースなどにより、学校図書館に生用のパソコンを配備すれば、インターネット活用により図書に関する興味が増し、読書意欲が大きく前進するのでは。

答 ①今後、ICT基盤をいかに活用していくか、指導室を中心に対応していく。②再リース時のパソコン活用を含め、配置を検討していく。

東中野小と中野昭和小の統合

来住議員 東中野小と中野昭和小の統合により、新校の通学距離は延伸され、児童は、二つの幹線道路の横断を余儀なくされる。保護者、地域住民は、交通事故の危険性など、通学の安全が確保されていないことから、この統合の再検討を望んでいる。区は、この要望にどう応えるつもりか。

答 これまでもさまざま検討を行ってきた。今後も保護者、地域住民の意見を聞きながら、21年4月の統合に向けて進めていきたい。

児童・生徒による学校評価

きたごう議員 中学校の生徒による評価で、気軽に先生に相談できるという項目の評価が低い。スクールカウンセラーや心の教室相談員と連携するだけでなく、教員自身が生徒の相談や悩み事を受け取りと受けとめ、考えることが必要と思うがどうか。

答 評価結果により学校の課題を明確にし、その改善を図ることが重要な目的である。それぞれの学校で工夫し、また教育委員会としても、学校の中で評価が結果につながるよう指導していきたい。

教育

学校におけるICT活用

岡本議員 20年度、全小中学校に校内LANが構築され、電子情報ボードが整備される。

①ICT機器の整備だけでは活用は図れない。教育委員会と関係者によるICT活用の基本方針や計画が必要ではないか。②パソコンの再リースなどにより、学校図書館に生用のパソコンを配備すれば、インターネット活用により図書に関する興味が増し、読書意欲が大きく前進するのでは。

答 ①今後、ICT基盤をいかに活用していくか、指導室を中心に対応していく。②再リース時のパソコン活用を含め、配置を検討していく。

小中一貫教育

内川議員 子どもたちの成長や発達を支援するためには、小・中学校間のつながりが大切である。集団の活力を生かして、コミュニケーション能力の基礎となる力を育成する小中一貫教育について、どのように考えているのか。

答 子どもたちの成長には、教育の連続性が大切であり、義務教育の9年間を見通して、教育課程や指導方法を考えることが必要である。また、小学校から中学校へと進学する過程での学習や人間関係は、人格形成の基盤にも影響することがあると考えている。他区の事例なども踏まえ、区の実態に合った連携教育のあり方を研究していきたい。

道徳教育

篠議員 文部科学省は、政府の教育再生会議が求めた道徳の教科化や、道徳教育の中心となる教員を各小中学校に一人ずつ配置することを次期学習指導要領に盛り込むこととしたが、①道徳の教材となる、先人の生き方に関する副読本について、どのように考えているのか。②先人の生き方を題材とする狙いをどのように考えているのか。

答 ①指導にあたり、大きな役割を果たすものである。各学校が、教材選定時に、指導要領の変更の趣旨を踏まえらるるよう指導・助言を行っていく。②児童が感銘を受ける魅力的な題材と考えている。

桃花小体育館改築

むとう議員 体育館改築計画について、教育委員会は07年度中に基本設計を完了すると説明してきたが、業務委託の件名は「改築計画支援業務委託」であり、基本設計まで至っていないのではないかと用語を統一するとともに、拙速とならないよう、施設整備を図っていくべきでは。

答 基本計画は12月に決定しており、現在、基本設計の一部に着手した段階であるが、19年度中に平面図、立面図、断面図などの成果物ができると、これをもとに意見を聞いて進めていく。

区政一般

外郭団体への再就職

山崎委員 シルバー人材センターなど外郭団体へ区職員OBを紹介しているが、これは、天下一りに該当するのか。

答 天下一りは、一般的に上からの一方的な押しつけで団体などに受け入れさせるものである。中野区の場合は、当該団体から、情報提供の要請があった際に人材を紹介しているもので、天下一りではない。

コンプライアンスの向上

奥田議員 20年度予算に、コンプライアンスの推進体制の整備費を計上し、法令遵守の体制の強化を打ち出している。これは我々中野区の民主党のマニフェストの中でも、うたっている。しかし、区長

の権限の一部である、職員の処分権が、法的な根拠なく副区長(旧助役)に委任されていることが明らかになった。この状態が放置されていることは、レアケースとはいえ、コンプライアンスの向上という点から、問題だと考えている。区はどのように認識し、今後どのように対応するのか。

答 一般的には規定の整備の必要があることは、認識しており、規定を整備すべきと考えているが、既に行った処分の有効性に影響することだとは思っていない。

職員2000人体制

飯島議員 区は、2000人体制を目指しているが、①職員の削減により、区民サービスの質と量は低下しないのか。また、人件費を削減しても、物件費が増えるのでは、意味がない。コストの削減につながるのか。②精神論だけでは、機能しない。2000人体制を着実に推進するため、電子自治体の構築に取り組むべきではないか。

答 ①コストの削減を図りながら、区民サービスの更なる向上を目指していきたい。②民間活力の活用と合わせて、改善も必要と認識しており、積極的に取り組んでいきたい。

酒井議員 ①区職員の「病気休暇制度」は、民間企業と比べると恵まれ過ぎである。②「病気休暇制度」についても、国などでは、給与を80%支給する期間を1年間とする見直しが行われている。中野区が、23区の人事情をリードし、情報発信を行い、改革を進めるべきではないか。

答 ①東京都などでも、国と同様の基準とするよう、見直しが行われている。区も、区民の理解が得られるよう、見直しに向けて検討していきたい。②適時適切な対応を図ってきたい。

第1回定例会

可決した議案

区長提出議案

を改正する条例

- 平成19年度中野区一般会計補正予算(第5次)
- 平成19年度中野区国民健康保険事業特別会計補正予算
- 平成19年度中野区老人保健医療特別会計補正予算
- 平成19年度中野区介護保険特別会計補正予算
- 平成20年度中野区一般会計予算
- 平成20年度中野区用地特別会計予算
- 平成20年度中野区国民健康保険事業特別会計予算
- 平成20年度中野区老人保健医療特別会計予算
- 平成20年度中野区後期高齢者医療特別会計予算
- 平成20年度中野区介護保険特別会計予算

●中野区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区立幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区立幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区事務手数料条例の一部を改正する条例
- 中野区職員倫理条例
- 特別区人事及び厚生事務組合規約の変更について
- 中野区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 中野区大気汚染障害者認定審査会条例の一部を改正する条例
- 中野区保育所条例の一部を改正する条例
- 中野区社会福祉会館条例の一部を改正する条例
- 中野区生業資金貸付条例を廃止する条例
- 中野区応急資金貸付条例の一部を改正する条例
- 中野区奨学金貸付条例を廃止する条例
- 中野区女性福祉資金貸付条例を廃止する条例
- 中野区高齢者及び障害者の入院資金の貸付けに関する条例を廃止する条例
- 中野区老人保健高額医療費

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

- 中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 中野区営住宅条例の一部を改正する条例
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)
- 特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

資金貸付条例を廃止する条例

●中野区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

●中野区介護保険条例の一部を改正する条例

●中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例

●東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について

●中野区営住宅条例の一部を改正する条例

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

●中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例

●東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について

●中野区営住宅条例の一部を改正する条例

●特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜634番)

●特別区道路線の認定について(上鷺宮五丁目635番〜639番)

中野区議会ホームページをご利用ください
中野区議会では、いち早く区民のみならず、まへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。
中野区議会ホームページURL
http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/

第1回定例会 可決した意見書(要旨)

社会福祉事業従事者の確保対策を求める意見書
少子高齢化や世帯構成の変化により、福祉・介護サービスへの国民ニーズは量的に増大し、質的にも多様化、高度化している。福祉・介護サービスを提供する各種制度が国民ニーズに添えるよう機能していくためには、サービスを担う質の高い人材の安定的確保が前提となる。
国は、社会福祉法に基づき、社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針を定めたが、実効性が発揮され、質の高い福祉人材が安定的に確保・養成されるよう、早急に適切な対策を講じられたい。
東京都は、従事者の需給状況や就業状況の把握、従事者に対する研修体制の整備、経

道路特定財源の暫定税率維持を求める意見書

道路特定財源は、直接の道路建設のみならず、市街地再開発事業、土地区画整理事業、鉄道駅の改良などにもあてられ、暫定税率が廃止された場合、中野区のみならず、教育、福祉といった他の行政サービスの水準を維持すること

平成20年度 予算に対する

各会派の見解

将来を見据えた財政運営を

自由民主党議員団

平成20年度一般会計予算 973億8800万円には、我が会派が主張してきた、野方駅整備基本計画の本格着手など、まちの魅力や活力を作り出していく施策をはじめ、中学生までの子ども医療費の増額、妊婦健康診査の拡充など子育て支援策が盛り込まれています。

一方、地球温暖化防止は全人類の重要課題と認識していますが、予算案で示された事業のうち「区民風車」と「校庭の芝生化」については、区民や区議会に

区政展開の新たな取り組みを

公明党議員団

20年度一般・特別会計を合わせた当初予算規模は、1551億円余である。20年度は、後期高齢者医療特別会計が新設され、5つの特別会計となる。後期高齢者低所得層への対応として、区は、保険料軽減措置に係る負担を行った。制度創設の実をあげる運営が広域連合に強く求められる。

一般会計歳出面は、我が会派の重点要望の妊婦健康診査全14回の補助、私立幼稚園等保護者補助、特定健診の国基準を上回る健診項目等の拡充、中野駅周辺・東中野駅前広場・野方駅の整備、西武新宿線沿線や本町地域のまちづくり、教育用校内LANの整備や校庭の芝生化等の拡充が図られたことを評価する。

20年度は、10か年計画、都市計画マスタープラン、みどりの基本計画、学校再編計画などの中野区行政の骨格の見直しが予定されている。区民の目線に立ち、内外の課題を乗り越え、中野区の将来像の実現に向けた力強い見直しを期待する。

くらし・福祉優先の予算を

日本共産党議員団

税制改悪や社会保障切捨て政策による増税・負担増と後期高齢者医療実施を控え、区民の暮らしは、不安と危機に見舞われています。それだけに区が、負担軽減等の取り組みを行うべきですが、逆に新たな負担を強いたのは問題です。基金残高は07年度末に区政史上最高の363億円を超えたことから、お金が無いのではなく、区民要望にこたえる姿勢が欠けていると言わざるを得ません。

一方、中野駅周辺整備に

区政経営の質を向上させよ

民主クラブ

区は現在、行政評価に基づく改善を予算に盛り込む経営を目指しています。財政的な改善傾向はありますが、教育施設の更新など、多額の支出が今後見込まれており、経営の精度向上は不可欠です。現状では、前年度実績が予算に十分反映できない状況があり、改善が求められます。

個別事業では、会派として要望を参りました、コンプライアンス推進体制の整備、オンデマンド交通システム検討、全小中学校

も困難になるなど、区民生活にも深刻な影響をもたらすこととなります。

よって、中野区議会は国会及び政府に対し、道路特定財源の暫定税率を維持するための関連法案を確実に年度内に成立させ、安定的かつ確実に道路整備の財源を確保するよう強く要請します。

〈衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、経済財政政策担当大臣あて〉

針や予算補助で普及し、字幕付与可能番組のほぼ100%につく状況になりました。

一方、邦画には、特別なものを除いて字幕が付いていないのが現実です。聴覚障害者は、字幕のない邦画は楽しむことができません。

聴覚障害者が日本映画を楽しむためには、音声情報の文字視覚化が必要で、これらを一般化するためには、統一した規格・規定が必要です。

そのためには、映画でも、字幕付与等情報バリアフリーを進める財政的支援措置が必要で、更に、DVD映像ソフトにも、字幕付与化の義務付けが必要です。

以上を鑑み、中野区議会は、国会及び政府に対し、下記の事項について、特段の措置を講じるよう強く求めます。

記

- 1 日本映画の情報バリアフリーの実現のため、ガイドラインを作成すること。
 - 2 映画の情報バリアフリーを援助する、財政支援措置を実施すること。
 - 3 市販の映画ソフトコンテンツの字幕付与義務付けを実施すること。
- 〈衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣あて〉

意見の分かれた案件(第1回定例会)

件名	会派名等 (議員数)	【○:賛成 X:反対 -:退席】					結果
		自 民 党	公 明 党	共 産 党	民主 クラブ	無 所 属	
区長提出議案							
平成19年度中野区一般会計補正予算(第5次)		○	○	X	○	○X	可決
平成19年度中野区介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○X	可決
平成20年度中野区一般会計予算		○	○	X	○	○X	可決
平成20年度中野区国民健康保険事業特別会計予算		○	○	X	○	○X	可決
平成20年度中野区後期高齢者医療特別会計予算		○	○	X	○	○X	可決
平成20年度中野区介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○X	可決
中野区職員定数条例の一部を改正する条例		○	○	X	○	○X	可決
中野区保育所条例の一部を改正する条例		○	○	X	○	○X	可決
中野区生業資金貸付条例を廃止する条例		○	○	X	○	○	可決
中野区奨学金貸付条例を廃止する条例		○	○	X	○	○	可決
中野区女性福祉資金貸付条例を廃止する条例		○	○	X	○	○	可決
中野区後期高齢者医療に関する条例		○	○	X	○	○X	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について		○	○	○	○	○X	可決
中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	X	○	○X	可決
道路用地及び公園用地の買入れについて		○	○	X	○	○X	可決
陳情							
第3号陳情 子ども施策の進め方について							
第4号陳情 児童館関連施策を充実させてください		X	X	○	X	○X-	不採択
第5号陳情 学童クラブ関連施策を充実させてください							
第6号陳情 保育園関連施策を充実させてください							
第8号陳情 中野区の特健診と後期高齢者健診等の自己負担の助成等について		X	X	○	X	○X	不採択

会派等の略称【自 民:自由民主党議員団、公 明:公明党議員団、共 産:日本共産党議員団、民主ク:民主クラブ、無所属:無所属議員】
※議員数は議長を除く。無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。

請願・陳情の 審議結果

本郷保育園の保育士と一緒に異動できるようにしてください。

――各項とも全会一致

(20)第10号陳情 福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める意見書を提出する件について

福祉人材の賃金・労働条件の向上、職員配置基準の改善がされるよう、国や都に対して意見書を提出してください。
(意見書提出―みなす採択)

不採択

(20)第3号陳情 子ども施策の進め方について

――賛成少数

(20)第4号陳情 児童館関連施策を充実させてください

――賛成少数

(20)第5号陳情 学童クラブ関連施策を充実させてください

――賛成少数

(20)第6号陳情 保育園関連施策を充実させてください

――賛成少数

(20)第8号陳情 中野区の特定健診と後期高齢者健診等の

継続審査

――総務委員会付託

(19)第9号陳情 中野サンブラザについて

――厚生委員会付託

(19)第14号陳情 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術代の助成について

(19)第18号陳情 住宅地上空

における鳩の群翔の禁止及び

防疫措置の実施について

(19)第23号陳情 医師・看護

師などを大幅に増員するための意見書を提出することについて

(20)第1号陳情 新井保育園

転園計画を凍結し、保育環境を整備することについて

(20)第9号陳情 高齢者会館

入浴事業の継続を求めることについて

――建設委員会付託

(19)第22号陳情 中野4丁目地区地区計画の区立新中学校

校庭と警察庁宿舍予定地について

(20)第2号陳情 東中野駅前

集日の確認、日程などを協議

――交通対策・中野駅周辺まち

づくり特別委員会

1/24 連続立体交差事業

についての学習会を開催

――環境対策特別委員会

1/11 環境政策における自治体の役割などについて

の学習会を開催

2/4 報告1件を聴取

採択

(20)第7号陳情 本郷保育園について

1 本郷保育園の地盤調査などの後も、現在の保育園の場所又はその近くに保育園を存続させてください。

2 2年後の転園先については、全員の希望をかなえてください。

3 仮園舎から転園の際には、

閉会中の委員会の動き

平成20年1月～2月

総務委員会

2/5 要求資料1件の審査、報告10件を聴取

区民委員会

1/22 報告2件を聴取

厚生委員会

1/21 報告17件を聴取

建設委員会

1/23 報告3件を聴取

文教委員会

2/4 報告4件を聴取

2/6 報告4件を聴取

議会運営委員会

2/1 第1回定例会の日程などを協議

2/8 第1回定例会の招

中野区議会定例会(一般質問)を テレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。

放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。



【問合せ】区議会事務局
(電話3228-5585)

整備について

――文教委員会付託

(19)第5号請願 高校歴史教科書における「集団自決」の記述に関する意見書の提出について

(19)第6号請願 高校歴史教科書に関する意見書の提出について

――防災まちづくり特別委員会付託

(19)第25号陳情 住宅の耐震化にむけた現行助成制度の発展・拡充について

ご希望の方は、区役所1階区政資料コーナーまで。

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、

取 下 げ

(19)第16号陳情 東中野地域における子供のための遊び場

ご利用 ください

●本会議録画ビデオ

本会議を傍聴できない方のために、本会議の様子を録画したビデオテープの貸し出しをしています。

ご希望の方は、区役所1階区政資料コーナーまで。

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、

今後の議会日程

現在予定されている議会日程は、次のとおりです。

- 第2回定例会
6月4日～6月17日
- 閉会中の委員会
総務委員会 5月15日
- 区民委員会 5月7日



- 厚生委員会 4月30日
 - 建設委員会 5月12日
 - 文教委員会 4月28日
 - 議会運営委員会 5月21日
 - 環境対策特別委員会 5月16日
- * * *
- 議会日程は変更されることがあります。詳しくは、中野区議会ホームページ、または区議会事務局(電話3228-5585)へ。

区議会を 傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局(区役所議会議棟3階)で傍聴の手続きをしてください。受け付けは会議開会の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員

100人、委員会は定員15人です。なお、携帯電話など電子機器をお持ちの方は、必ず電源をお切りください。

【問合せ】区議会事務局
電話3228-8870

小堤勇議員逝去



中野区議会議員 小堤勇(日本共産党議員団)には、2月10日、病気のため逝去されました。享年58歳。

故小堤議員は、平成15年に中野区議会議員に初当選され、平成20年まで連続2期、5年にわたり区議会議員として活躍されました。その間、環境対策特別委員長や決算特別委員長などを歴任されました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、
区議会事務局まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp

区議会各会派のEメールアドレス

- ▶自由民主党議員団 jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
- ▶公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
- ▶日本共産党議員団 jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
- ▶民主クラブ info@min-c.org